

---

# 遊戯王GX・栄光と引き換えの転生

パラドックス

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

遊戯王GX・栄光と引き換える転生

### 【Zコード】

N4008V

【作者名】  
パラドックス

### 【あらすじ】

飲酒運転から子供を救い死んだ少年・械・シン

彼のことを哀れに思った神様は彼の望む世界に転生させてくれることに

シンが望んだのは遊戯王GXの世界  
今彼の愉快な転生が始まる

## プロローグ（前書き）

初めてでよろしくお願いします

## プロローグ

主人公・械・シンは飲酒運転から子供を庇い死んだ少年

神様は本来なら遊戯王で世界チャンピオンの栄光を手にする彼を哀れに思いシンの望む世界・遊戯王GXの世界へ転生させる

彼のどたばたな学園生活が今つ始まる

シンク口あり・エクシーズあり・オリカあり・チートドローあり・遊戯王Rのキャラがたまに出てきます  
果たしてシンは栄光と引き換えにそれ以上の物を手にすることが出来るのか？

笑いあり・ワンターンキルあり・読む人のアイデアも取り入れます

## 始まり（前書き）

よろしくお願ひします  
今回まへるなしです

始まり

とある空間

シン

シン

「つむせえな」シン・真っ白な空間にびっくり。（「何が？」私は  
誰？）シン

「君は主の精神世界じゃ」？

「精神世界？」シン

「やつじや主の世界の多次元宇宙論を知つておるか？」？

「ああ・確か複数の世界に同姓同名で容姿がそっくりな人間がいる  
やつ？」シン

「ナムリ、セガ？」

「察するにあんたは神様か？」シン

神様  
……………なんでそれが分かつたのじや？

「俺は様々なネット小説を読んでな真っ白な空間にほり出される現状でそうゆうのはパターン化されて大抵神様なんだよ？初めてだけど・そもそも転生させてくれるパターン」シン

「それじゃあ手つ取り早い・主にはその権利が・『遊戯王GXの世  
界で』・はやつ?」

「それとカリト引き継ぎと俺専用オリカもお願ひ」シン

杖をふり G X の世界の扇を開く

「あつそうだ」シン

「何じゃ？」神様

「俺の死んだ理由教えて」シン

「実はな・・・トランクの飲酒運転から子供を救つたのじゃ・・・  
本来なら主は遊戯王とゆうカードで世界一になる予定だったのじゃ。  
主が勇氣で運命を変え・小さな命を救つた輝かしい栄光と引き換え  
に・ゆえに主の望む世界に連れていいくことを決意したのじゃ」神様

「わづか・・・わづかの態度はすいませんでした」シン

「こやっこ・ああ行くがよい・かけがえのない夢の世界に」神様

「行くぜ」シンはGXの世界の扉の向こうに入つた

## ?クロノス（試験用「テッキ」）ワンターンキル（前書き）

シンのGXでの経歴

械・シン

経歴

両親の奨めもありなおかつ精神年齢が大人のため四歳からサイバー流を学ぶ

六歳の時サイバー流マスターする試験の前日・両親が他界転生したとはいえ自分を一番に応援してくれた優しい人だったため精神的ショックでサイバー流のマスターを一時的に辞退する

同じ頃サイザーが入門

サイバー流のマスター試験で見事合格

ペガサスが見学していくペガサスにペガサスミニオンに入らないか？つと誘いを受けサイバー流マスターの資格を放棄するがマスター鮫島はサイバーエンドドラゴンをシンに托す

シンはペガサスミニオンに入りシンクロ召喚・エクシーズ召喚の提案などして今にいたる

## ?クロノス（試験用）テッキ）ワンターンキル

「明日か」シン・ペガサスが用意したホテルの個室

明日はGXの始まりの日である入学試験だ

「そういうや Cainza って来るつかけ？」シン・頑張つて思いだそつと  
する

「駄目だ曖昧で思い出せない・」シン

（困ったもんだ・いくらGXはどぎれどぎれしか見てないとはい  
なあ？）

「ンン」とホテルの個室のドアを叩く音がする

「どちら様？」シン

「僕だよ・天馬夜行だよ」夜行

「夜行？？？マジで夜行か？」シン・慌ててドアを開ける

そこには遊戯王Rで悪役の夜行がいた

G Xの世界ではペガサスミニオンとゆう立場はかわりないがインダストリアルリュージョン社のイベント企画部の管理責任者だ

「なんの用?」シン・夜行を部屋に入れる

「以前君が提案したシンクロ召喚とエクシーズ召喚の案が通りまず実験としてデュエルアカデミアでの決闘でデータを取つて徐々にこの世に出す形を取つたんだ」夜行・

「それめっちゃプレッシャー?・明日の試験に合格しなかつたらどうすんだよ?」シン

「君は筆記が一位でペガサス様の推薦もあるから大丈夫」夜行

(?夜行つてRと違つて結構明るいよな?・まあ初めて俺がペガサスミニオンに入った時に話しかけてくれたのは夜行でイメージと違つてびっくりしたけど)

「あつ肝心な物を渡さなきゃいけないの忘れてた」夜行

仕事用のかばんからデッキケースを三つだす

「それは?」シン

「ペガサス様が実験段階で作つたシンクロ召喚とエクシーズ召喚のカードだよ」夜行・シンにデッキケースを渡す

俺は内容を確認する

一つ目はシンクロンデッキ

これは俺が前世の時に使っていたデッキのパーティが殆どだった

二つ目はエクシーズ

グレンザウルスはともかくホープやリバイスが入っているのには驚いた

しかもデメリット無し

俺が前世の時はエクシーズがまだ出たばかりで使い勝手が悪いイメージしかなくこれ程エクシーズが使い勝手が良いと感じたことはない

三つ目はデブリシンクロ

しかもこの世界の純制限・制限に対応するので前世の俺のいた時よりもさらにえげつないことになるのではないか?

ただでさえ「天使の施し」が制限とはいえ墓地肥やしへ持つていいだ

「どうあれずサンキュー」シン

「一応聞くけど明日どんなデッキを使うの?」夜行

「サイバー・デッキ」シン

「・・・さつと上級生は驚くねんせ君はカイザーの兄弟子だから

夜行

「そんなんじゃない・・・あいつは俺を立ち直りさせてくれた恩人だから」「シン

「もう夜が遅いね一応M'rクロケツツが迎えにくるよ」夜行

「夜行・・・みんなによろしく」「シン

「うん・・・じゃあお休み」夜行・部屋を出る

次の日

△△△

「M'rクロケツツか?」「シン

「シン様・準備は出来ましたでしょ?」「クロケツツ

「ああ」「シン

サイバー流デッキをデッキケースに入れる

「行くぞ」「シン

M'rクロケツツが用意した車に乗る

車内

「会場に着きました」「運転手

「ありがとう」シン

「ではシン様」武運を「クロケツツ

「ああ」シン・車を降りる

### デュエルアカデミア試験会場

試験会場に入るとタイミングよく

「試験番号1番」一人とも来なさい」アナウンス

「1番? つとゆう」とは三沢と一緒に「シン

試験決闘場に移動すると三沢とあつた

「君か? 一人目の一位は?」三沢

「ああ・俺の名前は・鎧騎・シン」シン

「俺の名前は三沢大地だよろしく」三沢

「よろしく」シン

### 試験決闘場

「あなたの相手は私がするノーネ」クロノス

「よろしくお願いします」シン

「では」クロノス

お互い深呼吸をする

「『<sup>デュエル</sup>決闘』」

「私のターンドロー・私はボーガニアンを召喚しリバースカードをセットマジックカードターンジャンプを発動」クロノス

「何?」シン

(確かにクロノスはアンティークギアデッキのはず・・・試験用デッキか!・それに対してもターンジャンプの効果って確か)

「このカードの効果は三ターンお互いの時が経過することナーネ・そしてボーガニアンの効果自分のスタンバイフェイズごとに600のダメージを『えるノーネ』よつて $3 \times 600$ のダメージをあなたに『えるノーネ』クロノス

「うわー!」シン

L P

4000 - 1800 = 2200

「さらに手札を一枚捨て手札よりマジック発動コストダウン・この効果で私のモンスターのレベルが一一下がりますーのそして強欲な壺発動一枚ドローするノーネさらに一重召喚発動ナーネこのカードの効果で通常召喚できるノーネこれによりボーガニアンを生け贋にThe · big SATURNを召喚シマスーノこれでターンエンドナーネ」クロノス

(サターンを倒したらサターンの攻撃力分ダメージがお互い受ける・

そのためにボーガニアンドライブを削ったのか手札にはサイバードラゴン三枚に「デコイチ」一枚・次のターン貫通能力のあるカードをドローされたら負けるこのドローに全てがかかっている（シン）

「ドロー」シン

（強欲な壺がまだ希望がある頼む来てくれパワー・ボンド）

「俺は強欲な壺を発動力カードを一枚ドローする」シン

一枚のドローカードを確認

（融合だめだこれじゃあ・・・・ん？・・・・）

「どうしたノーネ？」クロノス

「勝った俺は手札から融合発動手札のサイバードラゴンを三体融合」シン

「ま・まさか」クロノス

観戦していた生徒が騒ぐ

（嘘だろ・あれはカイザーの物のはず）万場目

（お兄さんの他に使いこなす人がいるの？）翔

「融合召喚・いでよ・サイバー・エンド・ドラゴン」シン

「ナンデスピー」クロノス

「行けサイバー・エンド・ドラゴン・エターナル・エボリューション・バースト」シン

サイバー・エンド・ドラゴンがサターンを破壊

「この瞬間サターンの効果発動互いにサターンの攻撃力分のダメージを受ける」クロノス

「勝ったと言つたはずですよ先生・速攻魔法発動・痛恨の呪術・このカードの効果で俺が受ける効果ダメージは相手が代わりに受ける」シン

「マンマニーヤ」クロノス

4000 - 6800 - 2800

### 勝者シン

シンは「デュエル終了後周りを見てカイザーを探す  
カイザーを見つけるとフツと笑っていた

（それから俺は十代の決闘を見てクロケツツが用意した車でペガサ  
スの別荘に帰つていった）

?クロノス（試験用）テッキ）ワンターンキル（後書き）

いかがだったでしょうか？

**激闘？？万場目・シンクロはチートです（前書き）**

今回シンが使のは全盛期トリシードラテックです

## 激闘？？万場目・シンクロはチートです

アカデミア行きの船の中

俺は三沢と話していた

「やはりハイドロゲロンのために攻撃力変動力カードを入れるべきか？」三沢

（俺が入学試験のデュエルでワンターンキルをやってしまい周りから質問攻めをくらった

めんどくさい・正直に言えば前世では俺は先生に質問しまくったがくだらないことだためめんどくさい顔をした先生が好きではなかつた  
だが今なら分かる

自分から見ればくだらない質問に答えることはめんどくさい物はない

前世にいる先生すいませんでした

だが三沢みたく純粹に進化を求める奴からの質問は嫌いじゃない

将来の決まってないやつは今からでも強くなるべきだつとゆうのが俺の考え・三沢の熱心な質問に応えよう・彼をエアーマンにさせないために

「やはり攻撃力変動だけじゃなく・エナジー・コントローラーなどはどうだ？」シン

「確かに凡庸性が高いし・上級モンスターが来ても臨機応変に対応できるな」三沢

「まもなく船がアカデミアに着くぞ」監督者

数分後

「デュエルアカデミア

「……」三沢

「空氣ウマツー」シン

三沢転ぶ

「そこなのか？君が驚くところは？」三沢

「まあな・お互いに同じ寮だといいな」シン

「ああ」三沢

とりあえず俺達は新入生歓迎の入学式を行つた

相変わらずだがマスター鮫島は変わつてないのでホッとした

予想どおり俺はラーアイエロー制服を受け取り・三沢の近くに行き十

代と出会った

「よお・三沢やはりラーラーイエローか」シン

「あんた誰?」十代

「つてアーキ知らないんスカ?この前入学試験でワンターンキルを  
きめて三沢君と同率一位で入学した械・シンですよ」翔

「マジで?」十代

「自己紹介するのを忘れてた・俺の名前は械・シン」シン

「俺は遊戯十代」十代

「僕は丸藤翔つすよろしくつす」翔

「おい貴様」万丈目

(出た初期差別キャラ万丈目) シン

「何だ?」シン

「俺と決闘しろ許可は下りてるからアリコエル場でな」万丈目

「いいよ・デッキとり行ってくるから待つてろ」シン・ラーラーイエロー  
寮までデッキを取りに行く  
引き返す途中翔と十代と三沢と再会した

「やめたほうがいいですよ相手はオベリスクブルーっすよ」翔

「だが受けたからには自信があるんだよな？」十代

「YEDSオフコース」シン

「またサイバードリゴンデッキか？」三沢

「違う・今から使つのは実験段階の『デッキ』」シン

「そんなんで勝てるんスカ？」翔

「大丈夫・えげつない勝ち方で相手を倒すから」シンは再び走り出し携帯をだしてとあるところに連絡した

「何だ？」海馬

「例のカード使いますんでデータお願いします」シン

「了解した」海馬

デュエル場

「よくも来たものだな」万丈目

「あつたりまえ・売った決闘は買う・それがデュエリストだら」シン

「減らす口もそこまでにしどけ・万丈目さんほ強いんだぜ」取り巻

き

「あつや・あつやと始めようぜ」シン

「デュエル」

「俺の先行ドロー・俺はヘルソルジャーを召喚カードを一枚セットし天使の施しを発動デッキからカードを三枚引き手札からカードを一枚捨てる・これでターンエンド（伏せカードは奈落の落とし穴とヘルポリマー・これならサイバーエンドドリゴンのワンターンキルでも大丈夫なはずだ）」万丈目

「俺のターン・ドロー」シン

（これは・・・）のターンで勝てとゆうことか）

「怖じけづいたならサレンダーしてもいいんだぞ」万丈目

「勝った・俺は手札から天使の施し三枚引き手札から一枚捨てる・コストで送ったダンデ・ライオン効果発動・一體のトーケンを特殊召喚・さらに手札からチューナーモンスター・デブリドラゴンを召喚・」シン

「…………チューナー？」…………

「デブリドラゴンの効果墓地の攻撃力500以下のモンスターを蘇生する俺はダンデライオンを選択し特殊召喚・さらに大嵐発動お互いの魔法・トラップゾーンに存在するカードを全て破壊する」シン

「クソッ 奈落の落とし穴が」万丈目

「これで・容赦なくいたぶれる・レベル一の綿毛トーケン一體とレベル3ダンデライオンにレベル4のデブリドラゴンをチュー二ングシン

「…………チュー二ング?」「…………

「複数の小さき命の願い届く時戦いに終焉を打つため氷結界より現れる・シンクロ召喚・現れる氷結界の龍・トリシェーラ」シン

「何だその召喚方法は?」万丈目

「シンクロ召喚はチューナーモンスターとチューナーモンスター以外のモンスターを墓地に送り融合デッキから特殊召喚される新しい召喚方法だ」シン

「何だと?」万丈目

「その他にも別の召喚方法が存在するが貴様はこのターンで負ける。ダンデライオンが墓地に送られたため効果が発動するが氷結界の龍トリシェーラの効果でチエーンこのカードがシンクロ召喚に成功した時相手の墓地・フィールド・手札から一枚ずつゲームから除外する。俺はお前の墓地から天使の施しで捨てた軍神ガープを・フィールドからはヘルソルジャーを・手札からは右のカードを除外してもう一つ」シン

「くそ・ゴースト」万丈目

「さらにトリシェーラの効果処理が終わつたためダンデライオンの効果で再び綿毛トークン二体を特殊召喚するさらに手札から一重召喚発動・これによりもう一度通常召喚が許される再びいでよデブリドラゴンが召喚に成功した時墓地から攻撃力500以下のモンスターを特殊召喚・いでのダンデライオン」シン

「またトリシェーラか?」万丈目

「違うな・これはMY Favoriteカードの召喚の布石・レベル3のダンデライオンとレベル1綿毛トークンにレベル4デブリドラゴンをチューイング・疾風の音が轟く時・救いの風が今姿を現す・

シンク口召喚いでよスターダストドラゴン」シン

スターダストドラゴンは宙を旋回しながら星屑を落としていた

「スゲエ」十代

周りの観戦者はスターダストに見とれていた

「万丈目貴様の負けだ・トリショーラのダイレクトアタック・瞬間  
冷凍・ブリザード・フラッシュ」シン

トリショーラのはく息が万丈目の体を覆いダメージを与える

「グワー」万丈目

「とびめだ・スターダストドラゴン・シューティングスター・ソニ  
ツク・」シン

万丈目

L P

4 0 0 0 - 2 7 0 0 - 2 5 0 0 = - 1 2 0 0

「くそつ・覚えていろ」万丈目取り巻きを連れて逃げる

「すっげーな俺とデュエルしようぜ」十代

「アニキ・もうすぐ寮の新入生歓迎パーティーが始まるつすよ」翔

「それじゃ・また今度」シンは十代と翔と別れ三沢と一緒に寮に行

つ  
た

その後万丈目がストレス発散として十代を呼んでアンティードュエルを行ったのは言つまでもない

恋の始まり（前書き）

ビッグアイ登場記念に

## 恋の始まり

揺れる心？？明日香

「はあつまらん？」シン

### 初田の授業

一時間目はカードテキストについて答えるところでは原作通りだからつまんなくもない

### 2時間目は伝説のバトルシティについて

問題はここで発生した

バトルシティ偏のことはよく見ていたからこのあたりに解釈されているのが気になっていた

だがバトルシティの本来の目的や実際に起ったことはすべて隠蔽されてることに驚いた

授業の後海馬に電話したが

「この現代でオカルト紛いのことが信じられるか？」海馬

つと返されたので潔く引き下がるが自分で体験した真実をちゃんとしるしておけと思いつつやはり怒りはおさまらなかつた

千年アイテムに纏わる話で多くの人が死にかけたこと

開催した張本人のくせにそのへんを隠蔽したのが気にくわなかつた

ともあれ俺は怒りを感じていた

疑問に思つたクロノスは聞いても俺が答えないのストレス解消として圧倒的ワンターンキルをデュエルで決めたらどうだと言つた

クロノス

やっぱ優しいんだあんた

ただワンキルはえげつないぞ

ドグマブレーダーやキメラワンキルもあるし

なんやかんやで一日が終わり俺は十代と軽い雑談をしていた

何故か翔がいなかつたが十代に聞くと

「それがわかんねえんだよ。翔の奴、朝っぱらからなんかにやけた表情していてさ。」  
つと言つていた

そういう今日つて何かあつたっけ？

そつ思いつつ過ごしていたら

十代の携帯端末がなつていた

見ると

『丸藤翔は預かった。返して欲しければ女子寮まで来い。』

つと書いてあった

不吉な予感がして俺と十代は移動し

そこには天上院明日香とその取り巻きジユンコとももえがいた  
とりあえず

あつちにぶがあることだと思い

「どうも・翔が」迷惑をかけてすいませんでした」シン

「やつぱり」明日香

「おい・なんで謝るんだシン」十代

「いや・その人が正しいこの変態が手紙で呼び出されたって言つて  
んのよ」ジユンコ

「翔・お前に祈りを捧げるアーメン」シン

「ヤメテホー・それ死亡フラグ」翔・泣きじゃくりながら

「…………? ハア大丈夫よ翔君・君にチャンスをあげる  
から」明日香

「「へ？」」 翔&十代

「械シンあなたと決闘してもうつわ・」 明日香  
(つてそつか今日は女子寮での決闘・なら今回は・・・・・ん  
?)

制服のポケットから

械シン様へ

突然でしいません?

あなたの世界でヴァリアブルブックが発売になりました

これは初心者天使が付録のナンバーズ11 ナンバーズ16のカードで作ったテックです

これを使い楽しんでください

P . S .

重要な出来事中ならすいません

神より

(とつあえずこれでやるか)

「準備は出来たよつね」 明日香

「ああ」シン

「「決闘」」

「俺の先行・ドロー俺は手札から終末の騎士を召喚・効果によりデッキから闇属性モンスターを一枚墓地に送る・俺はレベルステイラーを墓地にさらに手札から天使の施しで三枚引いて一枚捨てリバースカードを一枚セットしてターンエンド」 シン

「私のターン・手札からマジックカード融合発動・サイバーブレーダーを融合召喚さらに手札からマジックカード発動アームズホール通常召喚の権利を破棄しデッキから装備魔法を手札に加える私は巨大化を手札に加える」 明日香

(ワンキルを狙っているな) シン

「私は天使の施しで三枚引いて一枚捨てる・さらに命懸けの駆け引き（オリカ）このカードは自分が相手にバトルフェイズで戦闘・直接攻撃で与えるダメージを宣言し千ポイント支払いカードを一枚ドローするただし宣言したポイント分ダメージを与えない場合相手はカードを三枚ドローする・私が宣言するのは三千」 明日香

「ヤバイツスよヤバイツスよ」 翔

「私は武装転生を一枚発動墓地にある巨大化とデーモンの斧をサイバーブレーダーに装備・サイバーブレーダーで攻撃・グリッサード・スラッシュ」 明日香

「トラップ発動・ハーフダメージ」のカードの効果は自分フィールドのモンスター一体の攻撃力を0にするかわり発生する戦闘ダメージを一度だけ半分にする」シン

L P 4 0 0 0 - ( 5 2 0 0 - 2 6 0 0 ) = 1 4 0 0

「速効魔法非常食・私は装備魔法一枚をコストにライフポイントを一千回復する」明日香

「それと命懸けの駆け引きに三千のダメージだ」シン

L P 5 0 0 0 - 3 0 0 0 = 2 0 0 0

「カードを一枚セットしてターンエンドよ」明日香

(この手札ヤバいなハリケーンしかまともなカードがない)

「俺のターンドロー俺は強欲な壺を発動デッキからカードを一枚ドローする」シン

(手札にきたのはガガガマジシャンと黙する死者・いくら初心者天使が作ったデッキとしてもこれはひどいこの状況で逆転勝ちするには・・・・・そうかこうすれば)

「どうした?怖じげづいた?」ジユン口

「フツ勝った・俺はマジックカードハリケーンと黙する死者発動・ハリケーンの効果により互いのリバースカードを手札に戻し黙する死者の効果で天使の施しで墓地に送ったレッドアイズブラックドラゴンを特殊召喚・さらにガガガマジシャンを召喚」シン

「そんな・・」

「でもそんなので明日香さんのサイバーブレーダーは倒せないわよ  
ももえ

「べつに倒さなくていいんだ」シン

「え？」明日香

「見せてやる。融合融合や儀式召喚を越えた召喚エクシーズ召喚を」シン

「…………エクシーズ召喚？？？」「…………」

「何なのよそれ？」ジュン口

「今に分かる。俺はガガガマジシャンの効果発動・ガガガマジシャンはレベルを1～8まで宣言したレベルに変更出来る。俺はレベル7を宣言・これで準備はできた。俺はレベル7となつたガガガマジシャンとレベル7のレッドアイズブラックドラゴンをオーバーレイシン

「すっげー何が始まるんだ？ワクワクするぜ」十代

「一体のモンスターでオーバーレイネットワークを構築エクシーズ召喚・現れよノ。11・ビッグアイ」シン

「それがどうしたの未知なる召喚である。ともサイバーブレーダーは効果で戦闘では破壊されない」明日香

「そりかじやあどうすんだシン」十代

「大丈夫だ問題ない・初めて見せた召喚だからエクシーズモンスター

ーの特徴を教えてやる・エクシーズモンスターは同じレベルのモンスターを使い召喚されるエクシーズモンスターの召喚に使った素材はエクシーズモンスターの下に重なる形で出現し・エクシーズモンスターは召喚に使った素材を墓地に送り効果が発動する・レベルとゆう概念はなく・ランクとして扱われる・さてと説明はこの辺にしてデュエルに幕を下ろすかN.O. 11・ビッグアイの効果発動・シン

「…………何ですって?」 明日香

サイバーブレーダーのコントロール権がシンに

「ビッグアイの効果・それはエクシーズ素材を一枚墓地に送りこのカードの攻撃権利を破棄することで相手モンスターのコントロールを得る」シン

「なんですか?」 明日香

「すげえ」十代

「とどめだ・サイバーブレーダーでダイレクトアタックグリッサー・スラッシュ」シン

「なによエクシーズ召喚ってゆうインチキカード使って」ジュンコ

「????俺を拾ってくれたペガサスを馬鹿にするな」シン

「…………は?」ももえ

「ちょっと待つてあなたはもしかして」明日香

「さすが天上院明日香予想通りだ俺はインダストリアルリュージョン社の会長ペガサス・クロフォードが集めた孤児・ペガサスミニオンだ」シン

「「ペガサスミニオンって何?」」翔&十代

「簡単に言えばデュエルモンスターズの生みの親ペガサスの養子だ  
おれは七歳の時からペガサスに尽力した・シンクロ召喚・エクシーグ召喚はその過程で生まれた・そして海馬コーポレーションの協力のもとこのデュエルアカデミアで実験することになったのがシンクロ召喚・エクシーズ召喚だ」シン

「そうだったの?」明日香

「ああ・今日は夜が遅いまた後日質問があつたら話そつ」シン

「じゃ・帰るぞ翔」十代

十代と翔はレッド寮に向かい船を走らせた

「んじゃ帰るか・」シン

その時俺は明日香が憐れんだ目で俺を見たのを俺は気がついた

なんだこの胸が苦しいが嫌じゃないこの感じは

まさか・・・これが恋なのか?

俺は胸の苦しみのあまり寝れず次の日は授業を大爆睡してしまい説  
教をくらってしまった

## 試験前回・テック強化（前書き）

今回はテクノルなしです

## 試験前日・デッキ強化

試験の前日

俺は三沢と一緒に極秘ルームに来ていた

理由は簡単

「デッキ強化のためだ

ただエレベーターに乗ろうとしたところ

不幸中の不幸か

明日香はともかく十代と翔に鉢合わせになつた

仕方なく

俺達は極秘ルームとは建前の

インダストリアルリユージョン社の俺の所有カード室に来ていた

「すっげー」十代

「これ・・・・全部シンが所有するカードなのか?」三沢

「ああ」シン

ちなみにイメージしてもらひつけば王立魔法図書館の狭まつたのをイメージしてください

「スゴイっス」つと翔が誰が見てもまる見えにカードをポケットにいれていた

「クロケツツ！カードが盗まれている・警備員達を呼んでくれ」シン

「ヤメテヨー……」翔

「何人の大切なカードを盗もうとしているの？せつかくだからあげようとしたのを君が俺の宝を盗もうとするなら君はバトルシティのグールズ並のクズだなそれに」シン

「シン・ゴメン」十代

「十代が謝る」とじゃないぞ……仕方がない……君らのデッキに合うカードをあげよう……それと翔「シン

「はい！」翔

「今度から盗むなよ……今度は退学<sup>アキハラ</sup>になるべからやるから」「シン・握りこぶしを見せながら

「はい〜？」翔

とつまあの十代達のデッキはいかのとおり

十代

超融合を除いた属性HEROのデッキ

翔

漫画版のロイドを合わせた火力重機ロイドデッキ

三沢

水属性デッキに恐竜カードを加えたもの

明日香

サイバーエンジエルプラスオリカ

プルルルル・プルルルル・プルルルル

「何だ?」シン

・・・・・・・・・・・・

「十代・用事が出来た・今日はここまでにして寮に戻ってくれ」シン

「マジで用事なら仕方ないな行くぞ翔」十代

「了解ッス・アニキ」翔

「それじゃあまた明日」明日香

「寮に先に戻つてるぞ」三沢

「ああ」シン

数10分後

定期船来航の灯台

「待たせたな・・そして久しぶりだな・・・・カイザー・いや丸  
藤亮！」シン

「お久しぶりです」

## 試験前日・テッキ強化（後書き）

次回予告

明かされるサイバー流伝承の過去

両親が死んでからのシンはまるでクラシックユタウン編に出て来た当初の鬼柳のような日をしていた

・ 丸藤亮（当時八歳）は独自のサイバーテッキでシンに立ち向かうが・

## サイバー流対末サイバー流（前書き）

遅れていますません？

## サイバー流対末サイバー流

「明日・・・クロノス先生に頼んで指名して試験相手になつても  
らつてもいいですか?」カイザー

「・・・構わない・それと敬語はやめてくれ・もう俺はお前の兄弟  
子じゃない」シン

「分かった・・・それにしても明日・遂に本気のあなたとデュエル  
出来るんですね」カイザー

「ああ」シン

(思えば・・・この世界の父さんと母さんが死んだ時に始まった)

「あの時の俺は生氣を持たずただひらすらにデュエルしていた

「サイバードラゴンで直撃」シン

「リミッター解除により攻撃力が一倍になつたサイバードラゴン三  
体で攻撃」シン

「ぐわっ」「くそっ」相手

俺は両親が目標だった・開闢・終焉ビートダウンデッキをもつてし  
ても勝てなかつたそして俺は強くなり両親と肩を並べるいや越える  
ためにサイバー流を伝承することにした

とうとうマスター鮫島に認められサイバーハンブルガーコンを継承したその日

飛行機事故に巻き込まれ両親は死亡「シン

後で神にきいたことだが生活に支障がないよう精神年齢も0からスタートだつたとゆつ

「俺は不満足のなかでお前に会つたんだつけ」シン

「はい・そしてあの『デュエル』が始まつたんです」亮  
回想

「よろしくお願ひいたします」亮

「いいから来い!」シン

「『デュエル』」亮&シン

「先行をもらいますドロー・俺は天使の施しで三枚ひいて一枚捨てる・さらにマジックカード苦渋の選択を発動・俺はビッグバイバー三枚ど・×ヘッドキヤノン一枚を選択を選択」亮

「俺は×ヘッドキヤノンを選択」シン

「×ヘッドキヤノンを手札に加えてそれ以外を墓地に送ります・さるに手札抹殺を発動・お互ひは手札をすべて捨てて・その枚数分カードをドローしますそしてサイバーフュニックスを召喚・カードを三枚伏せターンエンド」亮

「俺のターン・俺は手札からサイバーサポートファクトリーを発動・

このカードは互いに機械族モンスターを任意の枚数除外しその枚数・かける四つのターンカウンターを乗せ・互いのエンドフェイズにターンカウンターを一つ取り除く・ターンカウンターが0になつた時・この効果で除外したモンスターを手札に加える・ただしサイバーと名の付いたモンスターを除外する場合モンスターの数かける一つのターンカウンターを減らすことが出来る・俺はサイバードラゴン三体とプロトサイバードラゴンを除外」シン

「俺もサイバードラゴン三体とプロトサイバードラゴンを除外」亮

「俺はリミッタータイムナンバー4を召喚・このカードが破壊されたときライフを半分にしてターンカウンターを0にするちなみに戦闘で破壊された場合・リミッタータイムナンバー0～3をデッキから召喚する」シン

「だが・・・」のターンでサイバーエンドドラゴンを召喚する方法がある」亮

「そうだ・俺は瞬間爆発発動このカードは自分のモンスター・一体を破壊してあいてモンスター・一体を破壊する俺の場にはリミッタータイムが・お前の場にはサイバーフュニックスがだがこのまでは・お前の場にもサイバードラゴンが召喚されるチエーン発動異次元からの埋葬」シン

「異次元からの埋葬? ! ! ! 」亮

「このカードの効果で・除外されている三枚のカードを墓地に送る・俺はお前の除外されているサイバードラゴン三枚を墓地にチエーン発動により瞬間爆発は異次元からの埋葬の次に効果が発動するサイ

バーフュニッシュクスとリミッタータイムナンバー4を破壊「シン

「これによりサイバードラゴン三体とプロトサイバードラゴン一体がフィールドに・・・・・だが俺の場にもプロトサイバードラゴンが召喚されるそして俺はリバースカード発動・不意打ちリサイクル・このカードは相手が・攻撃力一千以上のモンスター三体以上特殊召喚したとき・墓地のマジックカードを発動できる・俺は苦渋の選択を発動・・・俺は王室前のガーディアン一枚・三体とプロトサイバードラゴン二体を選択」亮

「俺はプロトサイバードラゴンを選択する・手札に加えたあと・俺は融合を発動・・三体のサイバードラゴンを融合してサイバーエンドドラゴン・バトル・・エターナルエボリューション・バースト」シン

「俺は霧がくれを発動・霧がくれはこのターン俺のダメージを0にする・」亮

「くそつ」シン

(「だがなんだこのこみあげる感情は・・・・俺は喜びを感じている?/?/?・・・・・・」)

「サイバーフュニッシュクスが戦闘破壊されたためカードを一枚ドロー・」亮

「一枚伏せてターンエンドだ」シン

「俺のターン・・・俺は手札から強欲なつぼを発動・一枚ドローそして魔法石の採掘で手札一枚と引き換えに墓地から苦渋の選択を手

札に・そして苦渋の選択を発動・俺はサイバー・ラーバア三体とサイバードラゴンツバアイ一枚を選択」亮

「なら俺はサイバードラゴンツバアイを選択」シン

「サイバードラゴンツバアイを手札に・・・・フウ・・・・やつと準備が整った」亮

「何?????」シン

「俺はサイバードラゴンツバアイを召喚して・手札のサイバー・エルタニアの効果発動・このカードは光属性・機械族モンスターをフィールドと墓地からすべて除外しこのカードを特殊召喚する・俺はサイバードラゴン三枚とサイバラーバア・三枚・サイバードラゴンツバアイ三枚・Xヘッドキヤノン三枚・ビッグバイパー三枚・王室前のガーディアン三枚・プロトサイバードラゴン三枚を除外しサイバー・エルタニアを特殊召喚」亮

「トラップ発動・メカ・コーティング・このカードの効果でフィールド上に存在する機械族は戦闘以外でフィールドから離れる事はない」シン

「だがサイバー・エルタニアの攻撃力は除外したモンスターかける五百・除外した枚数は21枚よつて攻撃力は一万五百さらにリミッター解除により攻撃力を一倍にして攻撃・ドラゴニス・エボリューション・シューート」亮

シンルポ

「あ~~~~~何だろ・・・・俺は不満足だ・・・・悔しくて泣きたいぐらい・・・・シン

回想

「その後あなたはサイバー流を体得したあとあなたはインダストリアルイリュージョン社のペガサス会長の養子となつた」亮

「ああ・・・あのあと俺は強くなつたはずだ・・・しかし不満足のままだ・・・だからこそ明日のデュエル・・・リベンジさせてもうう・・・お互いのプライドを賭けて」シン

「ええ」亮

二人の目には炎がたきつていた

## サイバー流対末サイバー流（後書き）

もしかしたらライダー小説のために更新が遅れるかも知れません  
楽しみにしている方々にお詫びを申し上げます？

## プライドを賭けたリベンジ（前書き）

週間アクセス155ありがとうござます

これからも頑張って書きまくす

読んでくれている方々本当にありがとうございます??

## プライドを賭けたリベンジ

十代は原作通り遅刻・・・クロノスがパックを買い上げ万上目にわ  
たしていたがものの見事に十代にワンキルを成功させていた

手順は

大嵐

未来融合

エリクシーラーを選択

融合

ネクロダーグとオーシャンを素材にエスクリダオを召喚

ネクロダーグの効果でエッジマン召喚

エッジマンでVWを破壊

エスクリダオでダイレクト

融合解除

ネクロダーグとオーシャンでどどめ

当然万上田とクロノスは意氣消沈

そしていよいよ俺の番がきた

十代側

「なあカイザーとシンビツちが勝つと思ひ?」十代

「さあ?」翔

「今までの傾向だとまつたく同じ戦法のサイバードラゴン+テッキ・・・お互い最終的にたゞつづくのは」明日香

「・・・・サイバーエンドドラゴンか・・・確かに天上目君が言うようにどちらかが・タイミングを計り・グッドタイミングでサイバーホンダリードラゴンを召喚するにかかりつてはいるな」三沢

「おっ始まるぞ」十代

「では丸藤亮対シンデュエル初め」試験官

「「デュエル」」シン&亮

「先行は貰う俺のターン・俺はモンスターをセット・カードを一枚セットしてターンエンド」シン

「俺のターン・・プロトサイバードラゴンを召喚して手札から融合を発動・手札のサイバードラゴンとフィールドのプロトサイバードラゴンを融合・現れる・サイバーツインドラゴン・サイバーツインドラゴンで攻撃・ツインエボリューションバースト・第一打」  
カイザー

「セットモンスターはシャインエンジェル・戦闘で破壊されたため・デッキから光属性モンスターを特殊召喚・いでのプロトサイバードラゴン・さらに地獄の暴走召喚発動このカードの効果は攻撃力千五百以下のモンスターを特殊召喚した時互いはモンスターを選択しどキ・手札・墓地から同名モンスターを特殊召喚する・プロトサイ

バードラゴンは効果でサイバードラゴンとなるためサイバードラゴン三体を特殊召喚する」シン

「く・サイバーツインは融合モンスター・効果の対象外・ならサイバーツインでプロトサイバーを攻撃」カイザー

「甘い・リバースカードドレインシールド発動・攻撃を一回無効にして無効にしたモンスターの攻撃力分ライフを回復する」シン  
 $L P 4000 + 2800 = 6800$

「く・カードを一枚伏せてターンエンド」カイザー

「俺のターン・俺は手札から・ハリケーン発動・互いの魔法トラップゾーンにあるカードをすべて手札に戻す」シン

「く」カイザー

「さらには手札から・サイバードラゴンツバアイを召喚・効果により魔法カードを見せることによってこのカードの名前はサイバードラゴンとなる俺が見せるのは融合・」シン

「何?」カイザー

「このまま決まればカイザーの負けだ」三沢

「お兄さん」翔

「融合発動・サイバードラゴンとなつたプロトサイバードラゴンとサイバードラゴンツバアイとサイバードラゴンを融合・現れる・サイバーエンドドラゴン・・・そして攻撃・エターナル・エボリューション・バースト」シン

サイバーツインドラゴン撃破

4000 - 1200 = 2800

「せりにサイバードラゴン一体でダイレクトアタック」シン

「甘い・手札のマシン・ダメージ・ガードナーを捨て・効果発動・このターン機械族が破壊されていた場合・ダイレクトアタックによるダメージを0にする」カイザー

「フン・そうこなくては天よりの宝札で互いはカードを6枚になるようカードをドローするカードを一枚ふせて・永続魔法禁止令・このカードは俺が宣言したカードを使用することを不可能にする・俺はパワーボンドを宣言・ターンエンドだ」シン

「カイザーの決まり手のパワーボンドが封じられた」三沢

「せりにはあのリバースカードはおそらく」翔

「リミッター解除」明日香

「俺のターン・手札から死者転生を発動・手札を一枚すて墓地にあるモンスターを手札に加える・俺はサイバードラゴンを手札に融合発動・手札のサイバードラゴン三枚を融合し・現れるサイバーインドラゴン・さらに・リミッター解除・これにより機械族モンスターの攻撃力を倍にするさらに死者蘇生・現れるマジックキャンセラー・これにより互いはマジックカードを使えない・リミッター解除を使えない今がチャンス・行けサイバー・エンド・ドラゴン・エボリューションバースト」カイザー

「あの『ミミの負けか・・・』万上目

「勝った・俺はオネストの効果発動」シン

「何? オネストだと」カイザー

「そうだ・このカードは光属性モンスターが戦闘を行う時手札から捨てて発動する・戦闘する相手モンスターの攻撃力を自分の戦闘するモンスターに加える・サイバー・エンドドラゴンの攻撃力八千を・俺のサイバー・エンドドラゴンに加える・返り討ちだカウンター・エボリューションバースト」シン

「く」カイザー

L P 2800 - 12000 = - 9200

「バツバカな・カイザーが負けた」万上目

「嘘だろ」とりまき

「お兄さんが負けた」翔

「よつしゃ～～～・・・リベンジ果たしたぜ・亮」シン

「やはり・本気のあなたは強いな」亮

「満足だぜ・亮」シン

「え～シン君・君は見事にリベンジを果たし・なおかつ素晴らしいデュエル見せてくれましたそして定期テスト・高得点により・君をオベリスク・ブルーの昇格を許可します」鮫島

「 ょうじや・オベリスクブルーに 亮

「 ああ 「 シン

亮に握手する

そんななかインダストリアルリユージョン社では

極秘カードが盗まれていた

「 どい」だ~ 「 警備員

「 あれを外に持ち出すな ・・ シーンカードを 「 警備員」べ

## プライドを賭けたリベンジ（後書き）

オリジナルSINEカードと盗んだ人はセブンスターZ編に出てきます

今度の話はテュエルなしでタイタンが出てきます

それと一部とばすかもしれないの(こ)「承ください」

## あわれタイタン・クロノスの年齢あわめ（前書き）

密林さんにて指摘された如前を最初の文字だけ表示する」と記しました

密林さんこれでいかがでしょうか？

さらには作者の知識不足に土下座します？

これからはネットなどで質問したり・調べたりして正しく書いていい  
じつと思こまく

それでも違つ場合は指摘してください

ではよろしくお願ひいたします

## あわれタイタン・クロノスの年賀おめ

数日後

俺とカイザーは十代に誘われ怪談をしていた

「とある工場では・・あまりにも酷い扱いを受けた機械が感情を持ち一人また一人と人を機械のなかに入れるらしい」シ

「怖いっす」翔

つとこんな感じで怪談をしていると大徳寺先生がやつて来て廃寮の話をした

よし・タイタンにはかわいそうだけど・クロノスも巻き込んでやる  
翌日

俺は海馬コーポレーションに嘘（実際今日起こるから嘘じゃないけど）クロノスが不審者をやとい廃寮に生徒を襲おうとしていることを連絡

そして夜

十代に誘われ散歩するとゆづ名田のもと廃寮前にくると

「なぜだ〜〜」タ

「大人しくしろ不審者・あつシン様」海馬コーポレーション警備員

「お～やはり不審者がいたか・・・」シ

「やはりって？？」翔

「ああクロノスが十代を腹いせに退学までもち一もつとして不審者を雇つたんだ」シ

「そこまでするんすか？？たかがデュエルに負けたからって」翔

「正々堂々やつてくれればいいのに」十

「十代言つておく・・人にはプライドを踏み潰されたら人は何でもすると」シ

「分かつた」十

次の日

クロノスが担当する授業は田畠

俺は海馬コーポレーションに依頼していた・翔ののぞき見事件の筆跡・タイタンとの取引のビデオを見せ

クロノスは減給

タイタンはクロノスの暴走で雇われたため

一度としないことを誓い

そして、デュエルの知識・鍊金術の知識・その他もろもろの知識もあつたため

予備の教師としてアカデミア役員として静かに働いてそしてたまにこの学園に教えることになったとき

恋する乙女はシャークさんの前では無意味なのです（前書き）

今回はレイ編です

神楽坂の話は次の話になります

恋する乙女はシャークさんの前では無意味なのです

冬休みも過ごし・・・正式にタイタンはテュエルアカデミア教師になどを作り方を教え

タイタンは生徒から人気で基本テックキから勝てるマイアックテック月一試験で高得点をだした生徒にはレアカードを渡すとゆう方針だしかしタイタンいいのか???

一枚ん十万円のカードをだして

話を聞くと海馬に頼み試しにやつているらしく

実際成績最下位の連中が成績をあげてきて成功

海馬は気をよくしてタイタンの給料を上げた

対するクロノスは

ローンがあるためか減給はかなり響き

内職までしているとか

つとすると風の噂でレッドに転校生が来たと言った

まあ関係ないが

しかし俺も普通の学校生活を送る訳にいかず

そもそもエクシーズ召喚とシンクロ召喚の中間報告の期限が迫っていた

そのため田々翔と十代・隼人に頼みこみデュエルを行う田々だ

そもそも実験台のカードをかなり使って報告書も順調

あとはゼアルでカイトにボコボコにされたあの人 デッキか  
(シャークファンの皆様別に軽蔑の意味じゃないです・作者はシャークさん好きです)

つとカイザーと雑談しながら報告書を書いてると

レッド寮の生徒??が部屋に入ってきた

「カイザーヘ」レ

「誰だ?・おい・亮・お前の知り合いか?」シ

「いや知らん」力

「おーいレーヴィ・ここにいたか」十  
「つか」レ

レイ・走って逃げる

「おい・クロケツ不審者だ・学園の監視カメラを使って追え」シ

「ラジヤー」「クロケ

数分後

海岸にいるところを見つかり

海風で帽子が飛ばされレイが女と発覚！

「僕と『デュエル』だ・そうしたらこのことを秘密にしてもらつ」レ

「（結局このあと警備員に捕まるけど）・・・まあいつか・・そのデュエル受けてたつ」シ

「「『デュエル』」シン&レイ

「僕のターン・恋する乙女を召喚して・カードを一枚セットしてターンハンド」レ

「俺のターン・俺は天使の施し発動・三枚引いて一枚捨てる・さうに死者蘇生・現れる・超古深海王シーラーカンス」シ

「いきなり上級モンスター（だけど伏せカードで私に被害は〇のはず）」レ

「シーラーカンスの効果発動・手札を一枚捨てて『ティキからレベル4以下の・魚族を可能な限り召喚する・ただし効果は使用できず・攻撃宣言することもできない俺はビッグ・ジョーズ』一体とフライフアング一體を召喚・・・シ

「それで何するつもり・・魚族なんて雑魚を並べて」レ

「なら見せてやるよお前のゆう雑魚の底力を・手札からハリケーン発動・互いの魔法・トラップゾーンに存在するカードを手札に戻す」シ

「えつ・・きやつ・」レ

「さりにビッグジョーズ一体でオーバーレイコニットを構築・エクシーズ召喚・現れるブラック・レイ・ランサー」シ

「何この召喚方法?」レ

「迷惑をかけまくる・馬鹿な奴に説明する気も起きんな・さらにフライファーナー一体でオーバーレイユニットを構築・エクシーズ召喚・現れる・N.O.・17・リバイス・ドラゴン・・・おつと・俺はまだ通常召喚を行っていない・・・」のことがどんなことか・分かるか??"シ

「さああ?」レ

「俺はキラー・ラブ力を召喚・さらに魚族モンスターが召喚されたため手札よりシャーク・サッカーを特殊召喚・一体のモンスターでオーバーレイユニットを構築・エクシーズ召喚・現れる潜空母艦工アロ・シャーク」シ

「あわわわわわわ」レ

「ブラックレイランサーの効果発動・エクシーズ素材を一つ取り除き・相手モンスターを選択して選択したモンスターの効果を無効にする・さらにリバースドラゴンの効果発動・エクシーズ素材を一つ取り除き・攻撃力を五百アップ・終わりだ・ブラックレイランサー

で攻撃・ブラック・スピア「シ

「あや～」レ

「ニアロシャークの攻撃・ビッグイーター・そしてとどめだ・リバ  
イスドラゴンの攻撃・リバイス・ストリーム」シ

「ア

「さてと……あとはあこいつに任せせるか……クロケツツ・あとは頼  
む」シ

「了解・しました・シン様・あと」クロケ

「何だ?」シ

「明後日より急にペガサス様が海馬コーポレーション主催の『ニューハ  
ル大会の見学のため・急きょ・レポートの提出を明日までにしてほ  
しいのですが」クロケ

「……………ツハ～～～～?」シ

「ではよろしくお願ひいたします」クロケ

「お・おいくロケツツ・クロケツツ?」シ

俺はそのたむ中間報告のレポートを徹夜するはめとなり

当然・授業は寝てて怒られたとさ

神楽坂・忍者をなめたりあかんですよ（前書き）

今回は意外な人が登場します

## 神楽坂・忍者をなめたらあかんですよ

予定より少し遅れたが・・・武藤遊戯のデッキ展示が明日始まる。理由は簡単だ・・・カイザーにリベンジを果たした日にインダストリアルイリュージョン社の極秘カードが厳重な警備のなか盗まれたからだ

そのことは不安だが別に俺は遊戯さんのデッキをまるごと持つて見るため見る必要はないが・・・だが神楽坂の件も今日のはず・・・

いくら自分のデッキで勝てないとはいってもデッキを盗むのは犯罪行為・待ち伏せするか

夜

俺は海岸付近で神楽坂を待ち伏せしていた  
が・・・先に人がいて俺はその人を知っていたため遠くから覗いていた

「クックク・・・よしやく俺は最強のデッキを手に入れた」神

「そいつはどうかな?」忍者の格好をした男

「貴様は誰だ・・・まあいい・・・デュエルだ」神

「了承したでゴザル・・・勝つたら盗んだデッキをもとに戻すでゴザル」?

「なぜ・・・なぜこれを盗んだものとまいい」 神

「「デュエル」」 神&?

「俺の先行ドロー・苦渋の選択を発動・デッキから5枚数のカードを選択して・相手に一枚選ばせ・選ばれたカードは手札に・選ばれなかつたカードは墓地におくる・俺はマグネットウォリアーの（アルファ）・（ベータ）・（ガンマ）・マジシャン・オブ・ブラックカオス・ブラック・マジシャンを選択」 神

「拙者はマジシャン・オブ・ブラック・カオスを選択」 シ

「マジシャン・オブ・ブラック・カオスを手札に加える・死者転生発動・加えたマジシャン・オブ・ブラック・カオスをコストにマグネットウォリアーを手札に加える・さらに手札から闇の量産工場を発動・墓地の通常モンスターを手札に戻す・俺はマグネットウォリアーとマグネットウォリアーを手札に加える・さらに手札の・・・をいけにえにマグネットバルキリオンを召喚さらに・バルキリオンの効果で・墓地の・・・のマグネットウォリアーをこのカードをいけにえに三体とも守備表示で特殊召喚・死者蘇生発動・墓地に送ったバルキリオンを蘇生し・天よりの宝札・互いは手札を6枚になるようカードを引き・カードを一枚セットしてターンエンド」 神

「拙者のターン・ドロー・このターンで終わりじゃ・手札の機甲忍者アースを特殊召喚・このカードはカイザーとやら持つていてるサイバードラゴンと同じ効果じゃ・さらに・機甲忍者フレイムを召喚しフレイムの効果発動・このカードの召喚に成功した時レベルを一つ

上げる・拙者はフレーム自身のレベルを上げ・レベルを5にする」シ

「レベルと同じにしてなんの価値が」神

「なら見せてやる・レベル5の一體のモンスターでオーバーレイユニットを構築・エクシーズ召喚・参上せよ・N.O.・12・機甲忍者クリムゾン・シャドー」シ

「エクシーズ召喚だと・・・馬鹿なそれは・シンしか持つてないはず・・・」神

「悪いがの拙者はインダストリアルイリュージョン社の警備員・じや・この機甲忍者シリーズはペガサスが拙者のために作り上げたものじゃ・ペガサスはもうすぐエクシーズ召喚を世にだすため拙者に託したのじゃ・じゃが拙者のターンはまだ終わっていない・機甲忍法・サモン・コール・このカードはフィールドに機構忍者が存在するとき・デッキから機構忍者二体を効果と攻撃宣言をなくして特殊召喚・見参せよ・機甲忍者アクア・機甲忍者・エアー・さらに・アクアとエアーでオーバーレイユニットを構築・見参せよ・機甲忍者・ブレード・ハート・さらにサイクロンでリバースカードを破壊・さらに・機甲忍法・チエンジバースト・風属性の機甲忍者と名の付いたモンスターがいるとき相手モンスターの表示形式をすべて変更する・さらに装備魔法・ブレイク・鎖がまをクリムゾン・シャドーに装備・ゆけクリムゾン・シャドー・破壊の鎖がま・ブレイクチーン・ブレイク鎖がまの効果発動・装備モンスターが攻撃するとき相手のカード一枚破壊するバルキリオンを選択し破壊

マグネットウォリアー 撃破

「くそ」神

「ブレードハートの効果発動エクシーズ素材を一つ取り除き・忍者と名の付いたモンスターにもう一回攻撃する権利を『与える』？」

「ナツニー？・それじゃあ「神

「ゆけい・クリムゾンシャドー・さらに鎖がまの効果を使い・を破壊し・に攻撃・さらにブレードハートでとどめじゃ～」？

「クリボーをドロー出来ていなかつたか・・・これが遊戯さんゆうデッキの信頼してない結果か・・・・・・シ

「ではデッキは返してもらひづぞ」？・・少し歩いて

「あいつ・・・・立ち直れますかね・・・・」

「さあな・・・・・今回は護衛ついでにやつたが・・・・あいつはいつ

か立ち直れるや」

「そうですか・・・・それにしても・・・もつ開発されたんですね・

・忍者モンスター・・・・リッチーさん」シ

「ああ・・・それにしてもこれは辛かつたぜ・・・・時代劇にはまつてプロとはいえ変装するはめになつたんだからな」リ

「本当にお疲れ様でした」シ・衣装とデッキを受けとつて

「ああ・・・・それとインダストリアルイリュージョン社に妙な手紙が届いた・・・・」リ

# 「妙な手紙？」シ

「ああ・・進化をうみし者を罪深い力で葬り去ると・・・としか・書いてねえ」リ

「何でしょうね」シ

そんななか

理事處室

「二例のナードは『影丸』

「いやらに・・・他のカードと組み合わせれば使いものになるかと・  
・・・」?

「フムフム……ならば実験としてシンを狙うのだ？」

「は！」  
？

神楽坂・忍者をなめたらあかんですよ（後書き）

次回予告

休学をして幼い頃暮らした家に戻ったシン

そこに影丸の部下が封印されたカードを使い襲い掛かる

次回

脅威のS.I.N.モンスター 前編

## 脅威なるSHEENモンスター（前書き）

オリジナルSHEEN登場です

作者はパラドックスファンです

## 脅威なるS-12モンスター

「えつ休学？？」シ

「ああ・・貴様の協力で・シンクロ召喚・エクシーズ召喚は秋から始動することが決まってな・・・貴様も俺やペガサスの急な用事に振り回され肩がこつてゐるだろ？？ペガサスに提案して・・しづらく休みを与えることにした」海馬

「はあ」シ

「旅行したければ・場所を言え・・・移動費用と旅館の費用はこち  
らから出す」海

「なら・・・・実家に帰つていいですか？？」シ

「たつた一人の妹が心配か・・・まあその気持ちは分かる・・・俺  
にもモクバがいるからな・・明日・迎えのヘリコプターを向かわせ  
る」海

「では失礼します・・・」シ

数分後

「ツエー？？休暇？」十

「ああ・・しばらく休み無かつたからな・・・」シ

「でもいいな・・・」十

「仕方ないノーネ・・シニヨールシンは・・仕事を兼用しながら学年一位を保つてるノーネ・・・今回の休暇は当然ナノーネ」クロ  
「だから・・明日から十日間・・・学園を留守にするな」シ

「でも実家つて家族いなって言つてなかつたすか?？」翔

「翔!-!」三&十

「血の繋がつた・・・妹がいるんだ・・・今は親戚に引き取られて  
いるけど」シ

「すいませんツス」翔

「いや・・・いいんだ・・・言わなかつた俺も悪いし・・・」シ

その後十代達は察してか・・・家族に関して話をなかつた

転生前の家族は俺をかばい交通事故で死んだ

だから・・・だからこそ・・・転生した時・・・一緒にいた家族も・  
・・生きていてほしかった・・・

翌日

「久しぶりだな・・・童実野町」シ「シン様」高見澤

「何だ?」シ

「頼まれたとおりハウスキーパーにより・・掃除などは完了してお

ります・・・」高

「了解・・・この時間レナは学校か・・・・・それにしても・・・新しいデッキを組んだくか・・・・シ

「おー・・・そこの兄さん・・・デュエルしないかい?」黒フードの男

「いいだろ?」シ

「しかしシン様・・・」高

「デッキの試運転だ・・・シ

「了解いたしました」高

「では」黒フード

「「デュエル!」」「シ

「俺の先行・・・リバースモンスターにリバースカードを一枚セットしてターンarend」「シ

「私のターン・・私はフィールド魔法・SINワールドを発動」黒SINワールド・・・だと「シ

海馬「一ポレーション

「海馬様・・・でました・・盗まれたSINカードの一枚を確認」

「・デュエルを警備員が来た時点で強制終了する・システムをセッ  
トしておけ・・・あれば禁断のあまり・インダストリアルイリュー  
ジョン社で封印されたカードだ」海

「駄目です・・デュエルディスクが反応しません・・・一人のディ  
スクはウイルスが仕掛けであります」スタッフ

「ならウイルスを解除するワクチンを迅速に作れ・・・」海

「了解」スタッフ

(なんとか持ちこたえていた)

「SINワールドがあり初めて召喚出来るモンスターが存在する・  
・デッキにある・・レッドアイズブラックドラゴンを墓地に送り・  
現れよ・SINレッドアイズブラックドラゴン」黒

「いきなりか」シ

「さらに・SINレッドアイズブラックドラゴンはレッドアイズブ  
ラックドラゴンとして扱うため・マジック発動・黒炎弾」黒

「そろは・させん・ハネワタの効果・このカードを墓地に送り・効  
果ダメージを一度だけ0にする(原作のSINモンスターとは違う)  
」シ

「ならば・手札より・SINフュージョンを発動・このカードはS  
INモンスターとの融合に必須カード・手札のSIN・デーモンと・

場のSIN・レッドアイズブレイクドラゴンを融合・現れる・SINブラックモンズドラゴン」黒

（新たなSINサポートカードだと？これが俺とゆう存在が引き起こした・イレギュラーカードなのか？）シ

「SIN・ブラックモンズドラゴンの効果・このカードは貫通能力と・破壊した相手モンスターの攻撃力分のダメージを与える・行け・SINブラックモン・罪の波動・SIN・デーモンズ・バースト」黒

「トラップ発動・和睦の死者・」シ

「つち・ならば・手札から・SIN・バーストを発動・フィールドのSINモンスターを除外して・その攻撃力分のダメージを相手のスタンバイフェイズに与える・私はSINブラックモンズドラゴンを除外し・カードを一枚セットしてターンエンド」黒

「俺のターン」シ

「スタンバイフェイズになつたため・SINブラックモンズドラゴンの攻撃力三千一百のダメージを受けてもうつ」黒

LP 4000 - 3200 = 800

「ぐわつダメージが現実にだと？」シ

「言い忘れていたがこれは闇のゲームだ・・・それを肝に命じておけ」黒

「これが・・・これが闇のゲーム」シ

## 脅威なるSHZモンスター（前書き）

SHZ使いの正体とは？？

## 脅威なるSINモンスター

「俺のターン・ドロー・・・一気に攻める・手札より融合発動・手札のサイバードラゴン三体を融合して・現れる・サイバーエンドドラゴン」シ

「ほう」黒

「いけ・サイバーエンドドラゴン・エターナルエボリューションバースト」シ

（通れ・・・）

サイバーエンドドラゴンの攻撃が直撃する

「ふう・危なかつた・この永続トラップカード・SIN・ドレイン・がなかつたら私は負けていた・このカードは・自分がダイレクトアタックを受ける時墓地のSINモンスターを除外し・除外したモンスターの攻撃力分ライフを回復する・私はSINレッドライズブラックドラゴンを除外してライフを一千四百回復していたのだ」黒

「何?」シ

「さらに永続トラップ・罪の解放洗脳・発動・このカードはダイレクトアタックをしたモンスターのコントロールを得る・さらに・名前にSINと加える・サイバーエンドドラゴンのコントロールを得て・SINサイバーエンドドラゴンとして私の場に君臨」黒

「カードをセットしてターンエンド」シ

「私のターンドロー・手札から魔法カード・天よりの宝札を発動・互いはカードを6枚になるようにカードをドローする・さらに・SIN・ブレイク・トルネードを発動・フィールドにSIN・モンスターが存在するとき相手のデッキからSINモンスターのレベルの数だけ・デッキの上からカードを墓地に送る・SINサイバーエンドドラゴンのレベルは10よつて十枚のカードを墓地に送れ」黒

「く」シ

デッキ枚数残り17

「せりに手札とデッキにある・SINモンスターをそれぞれ一枚墓地におくり手札より・SIN・リサイクル・カウントダウンを発動・このカードはフィールドにSINモンスターが存在するとき一ターンに一度・墓地にあるSINとのついた魔法カードをこのカードの効果としてしようできる・私は再びSIN・ブレイク・トルネードの効果を使用し・貴様のデッキから十枚のカードを墓地に送れ・ただし・私はSINリサイクルカウントダウンの効果を使用した・ターン・攻撃はできない・ターンエンド」黒

「く」シ

デッキ残り7枚

「俺のターン・・・シ

(手札があつても・・デッキがなくなれば・デュエルは俺の敗北・・リサイクルカウントダウン・の発動までに攻略方法を考えなけれ  
ば)

「俺は手札から・地割れ発動・・・」シ

「わっ私は・・・手札からSINガーディアンを墓地に送り・効果発動・ガーディアンは・このターン・SINモンスターの効果破壊を無効にする」黒

（奴が慌てた？・・・そういうえばカウントダウンの発動条件は・・・SINモンスターの存在が必須・・・存在が必須？・・・確かにSINモンスターはパラレルギア以外はレベル5以上のモンスター・・・ゆえにロックがしやすいと・転生前は友人にロックデッキでぼこられたな・・・シンクロでロックするやつ・・・そういうや遊星対ジャックの最終戦・・・そういうやあのカードなら・・・だが俺の手札にはチューナーや蘇生カードがないならば）

「俺はリバースモンスターとリバースカードを一枚伏せてターンエンド」シ

「私のターン・・手札よりSINボックスを発動・・次のターン・SINモンスターをデッキから手札に加える・ゆけSINサイバー エンド・エターナルエボリューションバースト・・」黒

「トラップ発動・・・身代わりの贈り物・このカードは自分フィールドのモンスターを墓地に送り・・墓地からカードを一枚手札に加える俺はサイバードラゴンを手札に加える・さらに・トラップ発動・幻影の盾・フィールドのモンスターを墓地に送り・このターン発生するダメージを0にする・・」シ

「つちターンエンド」黒

「俺のターン・ドロー・手札よりコール・リゾネーターを発動・効果でデッキから・リゾネーターとのついたモンスターを一枚、デッキから手札に加える・おれはダークリゾネーターを手札に」シ

「何をしようとも貴様はSINカウントダウンの効果でデッキが0となり敗北する」黒

「それはどうかな?」シ

「何?」黒

「見せてやるよ・・・デュエルの進化を手札から・サイバードラゴンを特殊召喚・さらにチューナーモンスター・ダークリゾネーターを召喚・サイバードラゴンに・ダークリゾネーターをチューニング・紅蓮の炎を駆け巡る・戦士よ・今その二双の剣を振るいまわし現れろ・シンクロ召喚・いでよ・クリムゾン・ブレーダー」シ

「ほう・・・それが噂のシンクロ召喚・・・だがしかしSINサイバー エンドの攻撃力は四千・それでどうするつもりだ?」黒

「攻撃だ・クリムゾンブレーダー・さらに・手札から速攻魔法・紅蓮の咆哮・このカードは融合デッキにある・レッドデータモンズドラゴンを墓地に送り・相手モンスターの攻撃力を三千をげる」シ

「何?」黒

「いけ・クリムゾンブレーダー・ツイン・クリムゾン・スラッシュ」シ

「くつだが・・・次のターン・どうあがこうが・SINモンスターが

手札に加わる・貴様の負けだ」シ

「それは・どうかな？・・・クリムゾンブレーダーの効果・それは・相手モンスターを戦闘によって破壊し墓地に送った時次の相手ターン相手はレベル5の・モンスターを召喚・特殊召喚・できない」シ

「何？！？」黒

「みたところ・SINモンスターは5レベル以上のモンスターばかり・・・これは効くだろ・・カードを一枚ふせてターンエンド」シ  
「私のターン・・・ターンエンド」シ

「俺のターン・行けクリムゾンブレーダー・・・ダイレクトアタック」シ

「くそ」黒・煙幕を使い逃げる

「待て」シ

「忠告しておく・・・いずれデュエルアカデミアに大いなる災いが訪れる・・・我々セブンスターズは既にデュエル進化を知り・・・強さは桁違いだと」黒

「セブンスターズだと！？」シ

(既にあいつらは動き出していた・・・まさか・最近・インダストリアルリユージョン社で大量にカードの資料が盗まれた・・・まさかあいつの正体は・あの目が書かれた黒フードは・・・グール

ズの残党か？）

ちなみにこのことを調べるために俺はインダストリアルリュージョン社に戻りデータの確認をしていた

## 脅威なるS-ONEモンスター（後書き）

妹は修学旅行編で出てきます

## 寮対抗代表決定戦十代対三沢・前編（前書き）

週間アクセス2400突破

ありがとうございます

読んで下さってる皆様方に感謝しております

前回投稿した脅威なるHORNモンスターに前編・後編を加わるのを  
忘れました

お詫び申し上げます

それでは・お楽しみください

## 寮対抗代表決定戦十代対三沢・前編

俺がアカデミアに戻り・・・数日間がたつた

俺は三沢・十代とともに校長室にいた

「えつ交流戦・代表決定戦?」=

「ええ・今年の一年生は既にとうかくをあらわしています・カイザーは今年の交流戦を辞退して今年の代表は各寮から一年生・の中の一名寮長からの指名を受けた者を代表決定戦に参加させる・いわば君達は寮の代表なのです」鮫

「へえー」十

「なので・・・君達には明日・代表決定戦に参加してもらいます・・・ルールは代表が残りの代表と戦つてもらいます・では解散」鮫

解散後

「こよいよか」三

「お互いのデュエルを楽しもうぜ」十

「ああ」シ&二

翌日

「みんな誰が代表になると思つですか」 翔

「私は十代に」 ももえ

「私は三沢に」 ジュンコ

「私はシンに」 明日香

「俺もシンに」 隼人

「僕はアニキに」 翔

「あつ始まるぞ」 隼人

「これより寮対抗代表決定戦を開催するノーネ・・対戦相手はくじで決めたノーネ・それではまず最初に対戦するのは・レッド寮・遊戯・十代・イエロー寮・三沢・大地」 ク

クロノスに言われ・十代と三沢が入場する

「楽しもつ」 三

「ああ」 十

「もうひとり・ブルー寮代表のシンは控室でデュエルを見ないうことになっているノーネ・では」 ク  
ステージから降りる

「「デュエル」」 三沢&十代

控室

「三沢対十代・・・俺の介入によつて・二人は原作よりも強くなり派手にやつてるはずだ・・・見れないのは残念だ」シ

ステージ

「俺の先行ドロー・俺は天使の施しを発動・三枚引いて一枚捨てる。さらに苦渋の選択を発動・俺はマグネットウォリアー・・・とクリッターそしてネクロガードナーを選択・さあ十代・この中からカードを一枚選べ・」三

「俺はネクロガードナーを選択」十

「俺はネクロガードナーを手札に加えたあと選択されなかつたカードを墓地に送る・さらにハイドロゲドンを召喚・カードを一枚伏せてターンエンド」三

「俺のターン・手札から大嵐を発動・さらに融合を使いアブソルートゼロを召喚・ゼロはフィールドに水属性モンスターの数×五百攻撃力をアップ・さらに墓地のネクロダークマンの効果発動・手札のレベル5以上のヒーローを生贅なしで召喚できる・いでよヒツジマン」十

「このまま決まればアニキの勝ちっす」翔

「いけ・アブソルートゼロ・ハイドロゲドンに攻撃・エターナル・ブリザード」十代

L P 4 0 0 0 - 1 4 0 0 = 2 6 0 0

「くつ」三

「！」の瞬間・墓地のトラップカード・バブルトラップを発動！このカードが・墓地にあるとき・水属性モンスターが戦闘で破壊された時・相手フィールド場のモンスターを破壊する・俺はエッジマンを破壊」三

「そんな・カードを一枚セットしてターンエンド」十

「俺のターン・俺はネクロガードナーを攻撃表示で召喚し強制転移を発動・このカードは互いにモンスターを選択して入れ換える・もつとも互いに交換に出すモンスターは決まっているがな」三

「・・・俺はアブソルートゼロ選択」十

「俺はネクロガードナーを選択・さらにアブソルートゼロでネクロガードナーに攻撃・絶対零度」三

L P 4 0 0 0 - 1 9 0 0 = 2 1 0 0

「く・」十

「焦るなよ・十代・・ゲームはまだ始まつたばかりだ」三

寮対抗代表決定戦十代対三沢・後編（前書き）

今回は三沢を強く見せられたかな？

## 寮対抗代表決定戦十代対三沢・後編

「俺はモンスターが戦闘で破壊されたため希望の戦士を発動・このカードは相手フィールド場に存在するモンスターの攻撃力が俺のライフを越えている場合・墓地の戦士族を特殊召喚する・蘇れ・エッジマン」十

「カードを一枚セットし・さらに天よりの宝札を発動・互いはカードを6枚になるようにカードをドローする・ターンエンド」三

「俺のターンドロー・ハリケーン発動・さらに融合を使い・ランパートガンナーを守備表示で召喚・行けつランパートガンナー・でダイレクトアタック・カードを一枚セットしてターンエンド」十  
LP2600 - 1000 = 1600

「俺のターン（さすが十代・融合封じコンボに気がついたのか・それとも勘か？だがサイクロンがきても問題ない）俺は手札からハイドロゲドンを召喚・さらに闇の量産工場を使い墓地のマグネットウォリアー・を回収・さらに手札より・手札断殺を使い互いは手札のカード一枚を墓地に送り・さらにデッキからカードを一枚ドローする・さらに闇の量産工場を使い・墓地のマグネットウォリアーとを回収・さらに・手札の を墓地に送り・現れるマグネットバルキリオン」三

「攻撃力三千五百だつて？」翔

「あれは伝説の決闘者・武藤・遊戯が使ったカード」明

「すごいんだな」「隼

「へつスゲエな三沢」十

「讃めてる場合か？・俺は手札より・速攻魔法・収縮を使い・エッジマンの攻撃力を半分にして・ハイドロゲドンでエッジマンに攻撃」三

「トライップ発動・忍耐の戦士発動・エッジマンはこのターン戦闘での破壊で破壊されない」十

LP2100 - 300 = 1800

「ならば・マグネットバルキリオンで攻撃」三

「ドレインシールド発動・攻撃を一度無効にしてライフを回復する」十

LP1800 + 3500 = 5300

「ならば・アブソルートゼロで攻撃」三

LP5300 - 1200 = 4100

「く」十

「カードを一枚セットしてターンエンド」三

「俺のターン・融合発動」十

「カウンタートライップ発動・封魔の呪印！このカードは手札の魔法をすべて発動する・魔法カードの発動を無効にして・無効にした魔法カードはこのデッキエル中一度と使えない」三

「ならサイクロンでもうひとつリバースカードを破壊するさらに天使の施しで三枚引いて一枚捨てる・・・俺は速攻魔法融合解除を

発動・アブソルートゼロを選択「十

「何?」三

「アブソルートゼロの効果は知ってるよな?・・このカードがフィールドを離れた時・相手モンスターすべてを破壊する「十

「しまつた」三

「さらに融合素材のネクロダークマンとオーシャンを蘇生・行け・エッジマン・エッジハンマー」+  
LP1600 - 2600 = - 1000  
(畜生)

「勝者・レッド寮・遊戯十代」クロ

「よくやつた」・・・「いいぞ」レッド寮生徒

「次の試合は三沢大地と械・シンナノーネ・・・選手入場・・・ブルー寮・械・シン」クロ

シンが入場する

「十代が勝ったか・・・まあいい・・予想圏内だ」シ

「ではデュエル・スタート」クロ

「デュエル」三&シ

寮対抗代表決定戦シン対三沢（前書き）

今回の三沢は噛ませ犬です

## 寮対抗代表決定戦シン対三沢

「先行はもうう・ドロー・俺はサイバーラーバアを攻撃表示で召喚・さらにカードを四枚セットしさらにマジックカード・封印の黄金櫃を使いデッキから・パワー・ボンドを除外・除外したパワー・ボンドは二ターン後のスタンバイフェイズに手札に加わる・さらに天よりの宝札で互いは手札を6枚になるようにドローする・ターンエンド」シ

「俺のターン（攻撃力が四百を攻撃表示？明かに罷だ・だが）今の俺には攻めるしかない・ハイドロゲドンを召喚し・サイバーラーバアに攻撃」三

「サイバーラーバアの効果・このカードが攻撃表示になつた俺はこのターン戦闘ダメージは0になる・さらに永続トラップ・サイバーサモンブラスターを一枚発動・このカードは機械族が特殊召喚されるたび相手に三百ポイントのダメージを与える」シ

「まさかサイバーラーバアには・機械族を特殊召喚する・リクルーター能力が？！」三

「正確には同名モンスター一体をデッキから特殊召喚するのが効果だ・ハイドロゲドンとのバトルで破壊されたため・デッキよりサイバーラーバアを特殊召喚・よつてサイバーサモンブラスターの一枚の効果で六百ポイントのダメージを受けてもらう」シ

LP 4000 - 600 = 3400

「だがハイドロゲドンが戦闘でモンスターを破壊したためハイドロゲドンをデッキより特殊召喚・ハイドロゲドンでサイバーラーバアを攻撃」三

「デッキよりサイバー・ラーバアを召喚し・サイバー・サモン・プラスターの効果により・六百ポイントのダメージを受けてもうつ」シ

L P 3 4 0 0 - 6 0 0 = 2 8 0 0

「それはこちらも同じだ・行けハイドロゲドン・最後のサイバー・ラーバアを攻撃」三

「トラップ発動・サイバーリサイクルユニット・このカードは手札を一枚捨て・墓地のサイバーと名のついたカードをデッキの一一番下に置きカードを一枚ドローする・さらにサイバー・ラーバアの効果・戦闘で破壊されたためデッキよりサイバー・ラーバアを特殊召喚さらに六百ポイントダメージ」シ

L P 2 8 0 0 - 6 0 0 = 2 2 0 0

「・・強欲な壺発動・ピケルの恩恵を発動しピケルを三枚見せて三枚使いライフを三千回復・・・カードを一枚セットしてターンエンド」三

L P 2 2 0 0 + 3 0 0 0 = 5 2 0 0

「俺のターン・手札より融合発動手札のサイバードラゴンを含むモンスターを融合素材に」シ

「カウンタートラップ発動・封魔の呪印・発動」三

「」苦労だな・・手札よりJ F O タートルを召喚・さらにスピリットバリア・さらにサイクロンでリバースカードを破壊さらに速攻化発動・発動コストで手札を一枚捨てるこの効果で手札からバトルフェイズに通常魔法を発動できる・天使の施しで三枚引いて一枚捨てる」シ

「サイバーサモン・プラスターでライフを削る気か」三

「さあな？・行けサイバー・ラーバア・ラーバアが戦闘で破壊されたためデッキから・最後のサイバー・ラーバアをさらにUFOタートルでハイドロゲドンに特効さらにUFOタートルの効果でさらにUFOタートルを特殊召喚・召喚した・UFOタートルで特効さらに効果でUFOタートルを召喚し・特効さらにデッキよりサイバーフェニックスを召喚・さらに悪夢を見せてやる」シ  
LP5200 - 900 = 4300

「何？」三

「速攻化により手札から通常魔法・オーバーロードフュージョンを発動・俺は墓地にあるサイバードラゴン一枚とUFOタートル三枚・さらにサイバー・ラーバア三枚と・サイバードラゴンツバアイ一枚とフィールドのサイバーフェニックスを融合・いでよ・キメラティック・オーバー・ドラゴン・このカードの攻撃力は融合素材のモンスター×八百となるよつて攻撃力・八千だ・さらにこのカードは融合素材の数だけ攻撃できる」シ

「そんな・・・」三

「キメラティックオーバードラゴンの攻撃・キメラティック・レーザー・三連射」シ

LP4300 - 19200 = - 14900

「勝者・械シン・よつて三沢大地は・代表決定戦・敗北・ナノーネ」  
クロ

「がつかりだ・・・せつかく手が読まれているサイバー・デッキを使つたのに」シ

「くそ・・・俺は・・・俺は絶対お前を倒す・いや倒してみ

せる「三

「では代表決定戦最終戦・・レッド寮代表・遊戯十代対ブルー寮代表・械シン・・・デュエル開始ナーノーネ」クロ

「「デュエル」・十代&シン

## 寮対抗代表決定戦シン対三沢（後書き）

来週からテストが始まるので更新が遅れるかもしれません  
楽しみにしている方々にお詫び申し上げます

寮対抗代表決定戦・十代VSシン（前書き）

すいません

先週に載せるつもりがノロウイルスにかかりのせれませんでした

本当にすいません

## 寮対抗代表決定戦・十代VSシン

「俺の先行ドロー・手札から・永続魔法サイバーフォトン・フィールドを発動・このカードがフィールドに存在する時・自分のサイバーと名のついた・モンスターの数だけ・相手の魔法・トラップを無効にして破壊する・手札よりサイバー・ガーディアンを守備表示で召喚・このカードが召喚に成功したとき・デッキよりレベル4以下のサイバーを守備表示で特殊召喚するただし効果は無効となる・いざよプロトサイバー」シ

「何?」十

「これにより・・俺はお前の融合を封じることができる・カードを一枚セットしてターンエンド」シ

「俺のターンドロー・・手札から融合発動」十

「当然無効」シ

「手札からシールドクラッシュ発動」十

「これも無効だ」シ

「手札よりマジックカード・天使の施しを使い・三枚引いて一枚捨てる・さらにバブルマンを召喚・（壺男が？バイ三沢）フィールドにこのカードしか存在しないためカードを一枚ドローする・さらに手札よりヒーローチェンジ発動・フィールドのヒーローをいけにえ

に墓地のヒーローを召喚ただし同じヒーローは召喚できないけどな  
するいでよオーシャン・さらに墓地のネクロダークマンの効果でエ  
ッジマンを召喚して・ミラクルフュージョン発動・墓地のネクロダ  
ークマンとバブルマンを融合・こい・アブソルートゼロ」+

「トラップ発動・フュージョンアウト・このカードはフィールドの  
モンスターを生贊に相手の融合モンスターの召喚を無効にして破壊  
する・俺はプロトサイバードラゴンを生贊にする・さらにアブソル  
ートゼロの効果の発動に対し道連れ発動・自分のモンスターがフ  
ィールドから墓地に送られる時・相手モンスター・一体を破壊する・  
エッジマンには道連れになつてもらひ」シ

「くそカードを一枚セットしてターンエンド」+

「俺のターンドロー・手札からサイバーと呪のついたモンスターを  
墓地に送り・手札からサイバーインパクト発動・これにより相手の  
リバースカードを一枚破壊する」シ

「そんな（これじゃあ・エッジマンを蘇生できない・発動条件を満  
たしてないためエッジハンマーも発動できない）」+

「さらに天よりの宝札を発動・互いにカードを6枚ドローする・さ  
らに手札からパワー・ボンド・手札のサイバードラゴン一枚を融合・  
いでよサイバーツインドラゴン・さらにリミッター解除・パワー・ボ  
ンドの効果も交じり・4倍となる・行けサイバーツインドラゴン・  
ツインエボリューションバースト」シ

「うわ～」+

「これで学園の代表は俺だ」シ

「く～楽しい『テュエル』だった・またやろづぜ」十

「そんなことより十代・もうすぐこの学園で戦いが起る・大切な物を失いたくなれば力を研いておけ」シ

「どうゆうことだ?」十

「いざれ分かる」シ

(次の相手は万丈目か・・・まあ負けないとしてセブンスターズでは若干不安がある・・・・・原作とは違いサイバー流にいたころにこつそりすり変えたからな・・サイバーダークシリーズを取り寄せるか)

シンは知らない・・・サイバーダークシリーズを賭けてカイザーと一騎打ちになるのがもうすぐ学園で行われるのを

対ノース万丈目 目が眩んだ欲望は犬にでも食わしておけ

ノース校来航する当日

「完成」シ

(「このデッキは万丈目を叩き潰す・しばらくシンクロ・エクシーズ  
使えないしな」で・調べましたよ・禁止制限・準制限カード・苦渋  
の選択とか使える時点で間違ってる・まあシンクロが発達したらル  
ールは代わるだろうが・それより原作ブレイク作戦はまだ始まつた  
ばかり・なんせ今海馬コーポレーションに頼んでネオスがこちらに  
向かっている・セブンスターZ編には間に合うだろうな・ユベルは・  
・・現在インダストリアルイリュージョン社で精霊と話せる人間  
が保管している・・・いやなんせ一年間派手に行ってさらに一年は  
平和にしたい・・・まあユベルには十代にあわせると黙つてある・・  
それでおとなしくするとゆう約束をした・・・不安だ・・・  
不安でしかない・・・まあいつか・・・責任は全部十代なんだし・  
・・・さすがにかわいそーか・・・策はあとで考えよう・・・  
ん電話?)

「もしもし? はいペガサスさん?」シ

といひ変わってデュエル場

「すごいカメラの数だな・・・」三

「どうやら海馬コーポレーションとインダストリアルイリュージョ  
ン社のカメラがシンクロ召喚のエキシビション戦に今回の学園対抗  
を利用するみたい」明

「まじょ・・それじゃあ万丈田は・・・」+

「血祭りにあげられるためにあそいだることになるはず」翔

（（（（（哀れだな～）））））

「さて・・・貴様に『テッキを選ばせてやる・・一つは氷・・・一つは渓谷一つは・・・暗黒をあこのなからどれを選ぶ?」シ

「（氷だと前回トロシユーラにやらされたからな暗黒は物騒だなら）渓谷を選択する」万

「なら」シ

「「テュエル」」シ&万

「俺の先行・ドロー・おれは通常召喚権利を破棄してマジックカード・レベル・サモンを発動・手札のレベルモンスター・一枚を墓地に送り・そのレベルモンスターの進化先を『テッキより特殊召喚・ただし攻撃はできないが先行だからそのリスクはルールによつて・関係ないの俺はアームド・ドラゴン・レベル3を墓地に送りアームド・ドラゴン・レベル5を特殊召喚・さらにカードを一枚セットして未来融合・フュー・チャーフьюージョン発動・俺はF・G・Dを選択・俺は融合素材のドラゴン族5枚を墓地に送る・ゴーレムドラゴン一枚とスピアドラゴンとサファイアドラゴンとタイラントドラゴンを選択これでターンエンド」万

「俺のターン・ドロー・俺は大嵐を発動・フィールド場に存在する魔法・トラップをすべて破壊する（伏せカードは・・・うわづリビ

ングデッジに収縮かよ・・・多分レベルアップを狙つたつもりだろうけど・・・シンク口には劣るな）俺は・フィールド魔法・竜の渓谷を発動・このカードは手札からカード一枚捨てて効果を発動する・俺は手札のドラグニティ・ファランクスを捨て・デッキからドラグニティと名のついたモンスターを手札に加える俺はドラグニティ・ドウクスを手札に加える・さらに加えたドウクスを召喚して・ドウクスは自信の効果で墓地のドラグニティを装備できる・俺はファランクスを装備しファランクスは装備カードの自身のフィールドに特殊召喚できる・万丈目こいつはチューナーだ・意味分かるよな

「シ

「まさか」万

「予想通りだ・俺は装備状態のファランクスをフィールドに特殊召喚・4のドラグニティドウクスに 2のドラグニティ・ファランクスをチューニング・疾風を駆け抜ける・竜騎士よ・決着をつけるべく今この場に出現せよ・シンク口召喚・現れよ・ドラグニティナイト・ヴァジュランダ・」シ

「なんだ・たかが1900で何ができる」万

「ドラグニティナイト・ヴァジュランダは墓地にあるドラグニティを装備カードとして装備・さらに装備されている・ドラグニティを墓地に送り・攻撃力を倍にする」シ

「何?」万

「さらに・手札から永続魔法・竜操術を発動・このカードの効果で手札のドラグニティを装備する・俺はドラグニティ・ブランディストックをドラグニティナイト・ヴァジュランダに装備して・竜操術

の効果で攻撃力・五百アップし・ブランディストックは装備モンスターを二回攻撃を可能にする・よつてこのターンでデュエルは終了するが・収縮発動・アームドドラゴンレベル5の攻撃力を半分に・このターンが終焉だ・行け・ドラグニティナイト・ヴァジュランダ・・結束の双剣・二連げき・ダイイチダ～シ

L P 4 0 0 0 - 3 1 0 0 = 9 0 0

「うわー」万

「ダイニダ～」シ

L P 9 0 0 - 4 3 0 0 = - 3 4 0 0

「何をやっている？準・貴様は全国に万丈目一族の恥さらしをしたんだぞ」万丈目長男

(これやだな・・・念のため用意したかいがあつた)

シン・万丈目・アニその一の肩を叩く

「なんだ貴様」万丈目次男

「KILL・YOU・テレビのニュースを見る」シ

「ニュースだと？」万丈目ブラザーズ

ニュースを見ると

政治献金問題など万丈目兄が起こした法律違反を報道していた

「これは……馬鹿なあれば他言無用で金をかけたはず」万丈目兄

「お前の近辺のやつを買収したら出たぞ・まあ一部の奴らは海馬ローポレーションやインダストリアルイリュージョン社に雇われるならいいって泣きついてきたよ……お前らよつぽどひどいことしたんだな」シ

「くそ」万丈目・兄達・対応するために帰る

その後・万丈目は原作通りにオシリスレッドに

さあて祭はもうすぐか……

対ノース万丈目 目が眩んだ欲望は犬にでも食わしておけ（後書き）

次回

セブンスターズ編始まり・サイバーダークを賭けた戦い・亮?シン

セブンスター・ズ編開幕・サイバーダークシリーズを賭けた戦い・亮?シン（前書き）

こんな駄文を読んでくださつてありがとうございます？

## セブンスターズ編開幕・サイバーダークシリーズを賭けた戦い・亮？シン

ノース万丈目と戦い数日がたつた

もつそろそろかなつと思つてゐると

「明日香君・十代君・それに三沢君・シン君・万丈目君・校長がお呼びだニヤー」一緒に校長室に来てほしいニヤー」大徳寺

廊下

「こJのメンバーを呼ぶ理由つてなんだ・三沢？」十

「さあな・分かるのはこのメンバーは実技成績をトップで通過しているだけだ」三

ちなみに順位は

一位シン&十代

二位明日香&万丈目&三沢

「おっカイザーとクロノス先生も一緒だ」十

その後三幻魔の説明を聞いたが飛ばすだつてみんな原作と全く同じだもの

その後鍵を受け取る前に校長いや鮫島師範から衝撃の一言が

「亮・シン君達には裏サイバー流もといサイバーダークシリーズを受け取る気はないか?」鮫

「…………」「サイバーダークシリーズ?」「…………」「シン」と亮以外

「サイバーダークシリーズそれはサイバー流に反し・リスクペクトを否定したまさに裏サイバー」シン

「その圧倒的力とサイバー流に反したため封印されていたサイバーシリーズ…………でも何故?」亮

「聞いたところセブンスターズはインダストリアルリュージョン社のデータを盗み・そこから強力なカードを作り出すと言う…………・それに対抗するにはデータが破棄されたサイバーダークを使う選択肢もあります……亮・シン受け取る気はありますか?」鮫

「俺は受け取らない……おそらくシンも」亮

「いいや受け取る……セブンスターズに対抗するために選択肢を増やすのもいいからな」シ

「…………やはりあなたは変わった……インダストリアルイリュージョン社で一体何が?」亮

「別に……リスクペクトデュエルみたく手加減デュエルも相手に失礼と教えられただけだ」シ

「…………ならデュエルです……俺が勝つたらサイバーダー

クシリーズは受け取らない・・・俺が負けたら何もいいません・・・

・「亮

「いいだろう・そのかわり・このデュエルで俺が使用するのはサイバーダークだ・・・これなら納得がいくだろ・表が勝てば裏の考えが通り・裏が勝てば裏の考えも肯定される」シ

「分かりました・・・では今から1時間後デュエル場で待つてます」  
亮

1時間後

「リスクペクトデュエルを否定するデッキなんて認められない????」

翔

「だけど大丈夫かしら」明

「確かに・いくら強力と言つてもサイバーダークシリーズを初めて見るシンに使いこなせるか」三

「そこが勝利の分かれ目か」十

「おつ始まるぞ」万

「リスクペクトデュエルを否定するサイバーダークを俺は倒す」亮

「やつてみな」シン

「「デュエル」「シン&亮

「先行はもうおうか・ドロー・俺は龍の羽ばたき跡を発動・手札のドラゴン族を一枚墓地に送り・カードを一枚ドロー・現れよサイバークーの機械・サイバーダークホーン・こいつは召喚に成功した時・墓地のレベル4以下のドラゴン族を装備する・俺は墓地にあるレアメタルドラゴンを装備・サイバーダークシリーズは装備したモンスターの攻撃力分攻撃力をアップする・レアメタルドラゴンの攻撃力は2400よつて攻撃力は3200だ」シ

「先行で攻撃力3000越え?」明

「あんなカード反則つす」翔

「いや・レアメタルドラゴンはその攻撃力ゆえ通常召喚は許されていない・特殊召喚でのみ召喚可能なモンスターだ」万

「さすがドラゴン族使い」三

「俺はカードを一枚セットしてターンエンド・」シ

「俺のターン・パワー・ボンド発動・これにより手札のサイバードラゴン三枚を融合いでよサイバーエンド・ドラゴン・パワー・ボンドによつて攻撃力は一倍・行け・サイバーエンド・ドラゴン・エターナルエボリューションバースト」亮

「トラップ発動・パワーウォール・ライフの百ダメージにつきデッキのカードを一枚墓地に送り・そのダメージを無効にする・俺は48枚のカードを墓地に送り・サイバーエンド・ドラゴンのダメージを無効」シ

「何?自分のデッキを無効にしてまで・・・なぜ」亮

「なぜ？ 答えは単純だ・・・勝つためだ・サイバーダークは破壊される時・代わりに装備カードを破壊する」シ

「サイバージラフを召喚し効果で生贊にしてパワー ボンドのデメリットを回避カード一枚伏せてターンエンド」亮

「俺のターン・ドロー・俺は手札から・同名排除発動・相手のモンスター一体を選択し・そのモンスターの同名モンスターがいる場合それを墓地に送る・いなければ選択したモンスターの攻撃力の半分のダメージを受ける・俺はお前のサイバーエンドドラゴンを宣言・融合デッキにあるはずだ」シ

「確かにサイバーエンドドラゴンは一枚ある・墓地に送る」亮

「俺は強欲な壺を発動・デッキからカード一枚ドロー・これで準備は整った・手札より黄泉の恵発動・このカードは墓地に40枚以上のカードが存在する場合発動可能！デッキと手札にあるカードを全て墓地に送り・墓地にある6枚のカードを手札に加える・デビルサイクロン発動このカードはライフを半分払い・相手のリバースカードを破壊する・このさいチエーン出来ない・さらにリバースカード発動・輪廻どくだん・このカードは墓地にあるモンスターを俺が宣言した種族にする・俺はドラゴン族を選択・パワー ボンド発動・フィールドのサイバーダークホーンと手札のサイバーダークエッジ・キールを融合・いじよサイバーダークドラゴン・パワー ボンドの効果で攻撃力は二倍さらにドラゴン族となつたサイバーエンドドラゴンを装備・さらに墓地のカード一枚につき攻撃力・100ポイントアップ・墓地のカードは50枚・よつて攻撃力・11000さらにマジックカード・収縮・相手モンスターの攻撃力を元々の半分にして・攻撃・いけ・サイバーダークドラゴン・フルダークネス・バー

スト」シ

L P 4 0 0 0 - 9 0 0 0 = - 5 0 0 0

「くそつ」亮

セブンスター・ズ編開幕・サイバーダークシリーズを賭けた戦い・亮?シン（後書き）

今週は四話ぐらい投稿したいと思います

## セブンスターズ編開幕・サイバーダークシリーズを賭けた戦い・亮？シンデュエ

すいません?????

携帯で投稿して文字数の数を越えていることに気がついていませんでした?????

## セブンスターZ編開幕・サイバーダークシリーズを賭けた戦い・亮？シンテュード

「お前らしくもない・あの時普通はサイバードラゴンを守備表示にするか・それともサイバーツイン・ドラゴンで攻めれば結果は違つていたはずだ・お前はサイバーダークに恐怖を感じていたんだな」シ

「シン君・デッキを強化してもらつたのは嬉しかつたけど・今回は認められない・徹底的に叩き潰すのはサイバー流に反する・サイバー流のデッキを返せ」翔

「よせ翔・これは俺とシンの問題だ」亮

「けど」翔

「翔・サイバー流のカードは預けてやるそれと亮・一つ警告しておく・リスペクトデュエルの甘い考えはこれからお前の足を引っ張ることになるぞ」シ

「なら・俺はそれを乗り越えてみせる」亮

その後俺は原作で大徳寺先生が預かる予定の鍵を受けとつた

その後カイザーはカミコーラに負け・リスペクトデュエルを捨てる決意をするのはもうすぐである

夜

「いきなり何の用事だ？神」シ

「主には神の器の試練を受けでもうつ・このままでは幻摩は復活するからの」神

「いいだろう・相手は誰だ?」「シイキなり男が現れ  
「俺達だ」二人組

神からの試練・対天豪ジロウ前編（前書き）

作者乱入（笑）

## 神からの試練・対天豪ジロウ前編

「試練は・特別な空間で行う」神は三人を転送した  
空間

「まずは自己紹介だ・俺は天豪ジロウ・パラドックスとともにロマンを追う者だ・・今回はたまたま死んだところ神の手伝いをするかわり・とあるカードをいただいた」ジ

「俺の名は械シン・転成者だ」シ

「時間がないぞ・ジロウ・両者構える」パ

「これより試練を始める」ジ・デュエルディスクを装着

「デュエル」「ジロウ&シン

「俺のターンドロー・俺は永続魔法・未来融合を発動・俺はファイブ・ゴッド・ドラゴンを選択しデッキよりウィッシュキュードラゴンとトライホーンドラゴンと伝説の白石を墓地に・さらに伝説の白石の効果によりデッキからブルーアイズホワイトドラゴンを三枚手札に・さらにバーナ・リバース発動・このカードは俺の通常召喚権利を破棄する代わりに墓地の通常モンスターを特殊召喚できる・いでよ・俺のデュエルの始めるきつかけをつくつた・ドラゴン・トライホーンドラゴンを墓地から攻撃表示で特殊召喚・さらに融合発動・手札のブルーアイズホワイトドラゴン三枚を融合しいでよブルーアイズアルティメットドラゴン・カードを一枚セットしてターンエンド」ジ  
「（ドラゴン族デッキか？）俺のターン・俺は手札から・強欲な壺を発動・さらに手札からワン・フォーワンを発動・このカードは手

札のモンスターを「スト」に「デッキからレベル一モンスターを特殊召喚できる・いでよレベルスティーラー・さらにレベルスティーラーを生贊にいでよ雷帝ザボルグ」シ

「帝ビートか」パ

「帝ビート?」ジ

「簡単に言えば生贊召喚で効果を発揮するモンスター達を中心にしてビートダウン・雷帝ザボルグは生贊召喚で召喚した時・相手モンスターを一体破壊する」パ

「まさか」ジ

「そのまさかさ・ザボルグの効果でアルティメットドラゴンを破壊する・さらに永続魔法・強者の苦痛発動・このカードの効果でトライホーンドラゴンのレベル×100ポイント分トライホーンドラゴンの攻撃力をダウンさせる」シ

「何?俺のフェイバリットモンスターが」ジ

「行け・ザボルグ・サンダー・ナックル」シ

「くつ」ジ

L P 4 0 0 0 - 4 0 0 = 3 6 0 0

「カードを一枚セットしてターンエンド」シ

「俺のターン・ドロー・強欲な壺を使い・デッキからカードを一枚ドロー・さらにリバースカード・ドラゴンの恵を発動・墓地のドラゴン族が7枚・以上の時・デッキからカードを一枚ドロー・さらに

手札から・同名召喚発動・自分のデッキから・レベル四以下のモンスターを墓地に送りその同名モンスターを蘇生させる俺はウイッシュコードラゴンを墓地に送り・墓地にあるウイッシュコードラゴンを蘇生・さうにウイッシュコードラゴンの効果で・ウイッシュコードラゴンを生贊にしてドラゴントークンを一体召喚・さらにマジックカード・ドラゴン・トークンミラー・発動フィールドのドラゴン族のトークンを選択し同じ名前のトークンとしてコピートークンを特殊召喚するさらに・壺の中の魔術書を発動・互いにカードを三枚引く・さらに俺はサイクロンを使い・強者の苦痛を破壊「ジロウ・一枚のカードを持ち構える

「・三体のモンスターを生贊に」ジ

(ぐるか) パ

「何だ?・」の威圧感は??」シ

「いですよ・三幻神の一体・オベリスクの巨神兵」ジ

「三幻神だと?」シ

「これこそ試練を乗り越えた時・お前に与えられる力だ・行け・オベリスクの巨神兵・ゴッド・ハンド・クラッシュヤー」ジ

「うわ?」シ

「どうした?デュエルはまだまだ始まつたばかりだぞ」ジ

L P 4 0 0 0 0 - 1 6 0 0 0 = 2 4 0 0

## 神からの試練・対天豪ジロウ前編（後書き）

次回

オベリスクの巨神兵を攻略したシン・しかし・ジロウにひとつは本当の戦いのための準備にすぎなかつた

次回

神からの試練・対ジロウ後編  
二つの神を打ち破れ

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n4008v/>

遊戯王GX・栄光と引き換えの転生

2011年11月9日19時18分発行